

2017.7.29

## Clay Science の電子ジャーナル化について

日本粘土学会会長

八田珠郎

日本粘土学会では「粘土科学」と「Clay Science」の2つの学術雑誌を発行しています。このうち、Clay Science については、平成 29 年度第 2 回理事会において電子化を推進することが認められ、電子化の実施に向けた検討を進めることが承認されました。電子化の目的は、学会会計の改善と研究成果の流通性及び検索性の向上にあります。具体的には粘土学会が抱える問題の一つに学会財政の問題があります。単年度ベースでの学術雑誌の印刷及び発送等の出版事業費支出の合計は個人会費収入と投稿料・別刷り等の出版事業収入の合計を上回る状況にあり、出版事業費支出の削減が喫緊の課題となっています。さらに、学術雑誌の電子化を推進することで、論文の流通性が高まり投稿数の増加と雑誌の質の向上が期待されます。現在検討している電子化は Clay Science の電子ジャーナル化で、J-STAGE をプラットフォームとした運用を行い、掲載論文は無料での閲覧及びダウンロードが可能となります。なお、賛助会員の皆様にはこれまでどおり冊子体の無料配布を行い、その他の会員の皆様には、ご希望により有料での冊子体配布を行う予定です。今後とも会員の皆様に Clay Science の電子化についてのアナウンスを行うとともに、2018 年 6 月頃を目途に冊子体希望の有無についてのアンケートを実施して、2018 年 12 月発行の Clay Science Vol.24, No.4 から電子ジャーナルへの移行を予定しています。